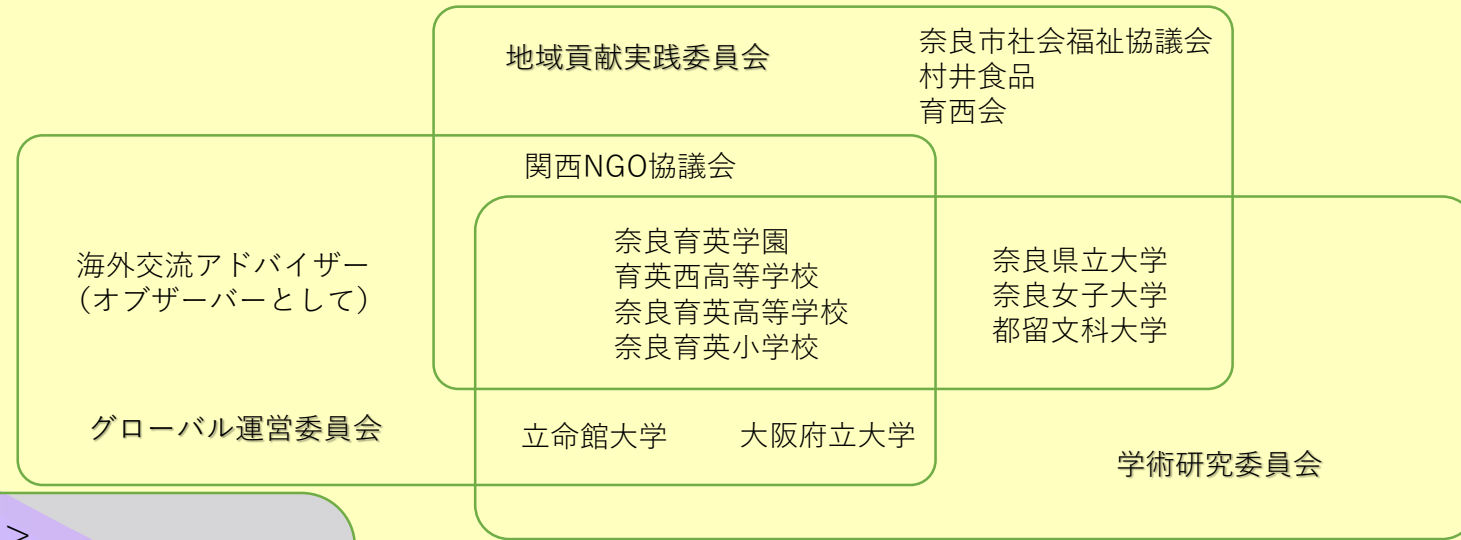


「他者を巻き込む行動」により地域に貢献する「自立女子」の育成

研究開発の背景

- 9割以上の生徒が奈良県内から通学
- 多くが近畿圏内の大学に進学
- 共感性を重んじ身近な人を幸せにしたいという完成を共有する学校風土

コンソーシアムにおける研究開発体制



<学びに向かう主体性>

- 「English Department」を通じての実践的な語学力獲得
- ディニアプトリ女子校とのオンライン交流
- 留学生との交流
- ボランティア実行委員会
- 輝く女性の講演会

今年度の取組

<知識・技能の獲得>

- 特設コースⅠ類 「シナジータイム」
- 特設コースⅡ類 「都留文科大学との共同プログラム」 「教科での探究的な学び」
- 立命館コース 「S.D.基礎」 「S.D.探究」 「S.D.論文」

令和3年度の目標

- 「シナジータイム」 「S.D.」の体系化
- 特設コースⅡ類の授業実践を踏まえ、概念ありきの学びの構築
- 生徒のメタ認知力を測る評価法の確立

成果

<知識・技能の獲得>

- 生徒アンケートの結果より
- 「リサーチスキル」 「思考スキル (批判)」 「コミュニケーション力」 12~15%上昇
- 探究的な学びにおける評価の深化**
- 探究活動の成果発表の機会増加**

課題

<批判的思考力・創造的思考力の向上>

- GPS-Academicより
- Aゾーンの生徒数の割合が平均で9.6%下降。
- 課題・解決策の明確化、情報の分析や整理が必要。

**綿密なデータ収集・分析の必要性**